

福島県内のきのこ初記録種の紹介

須賀川市 橋本 和 昭

福島きのこの会設立 20 周年に当たり、回想録の投稿を考えたが、私は当会に入会し 6 年ほどしか経っていない。当会設立時からの歴史に触れて書くには、さすがに時の経過が足りないと思う。そこで思いついたのが、最近県内で見られたきのこの紹介であれば、私にもできるであろうと考えた。

幸いなことに、福島きのこの会阿部会長が、「福島県産きのこリスト (2013)」と「福島県産きのこリスト第 2 巻 (2015)」をまとめられた。このリストは福島県内において採取された 1328 種が掲載されており貴重な資料である。阿部会長のこのリストでも記されているが、県内には未だ見つけられていない種が数多く存在すると思っている。今回、私が紹介する種は、①リストに掲載されていない種②学名も和名も無い種だが、国内で話題になっている種とした。

今後きのこ採集において、会員諸氏にとって多少なりとも参考になれば幸いです。思いこに紹介させていただくこととした。

1. トゲミフチドリツエタケ (Dactylosporina 属または Ibaomyces 属)



採取地；白河市 採取日；平成 27 年 07 月 07 日
肉眼的形態など；柄は中空

ひだに縁どりがある。胞子が金平糖状 (ツエタケ属にはトゲがない)。従来フチドリツエタケとしてみていた種は胞子の確認をお勧めする。

2. ウズゲツツチイロタケ (池田新称) (ベニタケ科マルチフルカ属)

Russulaceae *Multifurca ochricompacta*



採取地；川内村 採取日；平成 28 年
07 月 23 日, 24 日

肉眼的形態など；傘表皮は白色渦毛状の
クレーターあり (明快では無い)

ひだは黄土色 - 汚橙色で著しく分枝

柄表皮も傘と同様。胞子紋は橙色で非ア